



年 組 名前

道新でワークシート

谷さんの学級は、「僕たちの学級は、新モニュメントにどのような願いを込めるのか」というテーマで話し合っています。次は、谷さんの学級が話し合いをするために参考にした【新聞記事】と【話し合いの一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

道、百年記念塔解体へ

将来世代への負担懸念

道は4日に道立野幌森林公園（札幌市厚別区）の北海道百年記念塔を解体する方針を固め、跡地に新たなモニュメントを設置する方向で検討に入った。有識者懇談会などで存廃を検討していたが、老朽化が進んで安全面に問題がある上、継続した場合の今後50年間の維持費が30億円弱に膨らむと試算され、「将来世代への負担軽減の観点から解体はやむを得ない」と判断した。

道は4日に道立野幌森林公園（札幌市厚別区）の北海道百年記念塔を解体する方針を固め、跡地に新たなモニュメントを設置する方向で検討に入った。有識者懇談会などで存廃を検討していたが、老朽化が進んで安全面に問題がある上、継続した場合の今後50年間の維持費が30億円弱に膨らむと試算され、「将来世代への負担軽減の観点から解体はやむを得ない」と判断した。

道は4日に道立野幌森林公園（札幌市厚別区）の北海道百年記念塔を解体する方針を固め、跡地に新たなモニュメントを設置する方向で検討に入った。有識者懇談会などで存廃を検討していたが、老朽化が進んで安全面に問題がある上、継続した場合の今後50年間の維持費が30億円弱に膨らむと試算され、「将来世代への負担軽減の観点から解体はやむを得ない」と判断した。

道は4日に道立野幌森林公園（札幌市厚別区）の北海道百年記念塔を解体する方針を固め、跡地に新たなモニュメントを設置する方向で検討に入った。有識者懇談会などで存廃を検討していたが、老朽化が進んで安全面に問題がある上、継続した場合の今後50年間の維持費が30億円弱に膨らむと試算され、「将来世代への負担軽減の観点から解体はやむを得ない」と判断した。



道が解体する方針を固めた北海道百年記念塔（本社ヘリから）

記念塔は北海道命名100年に当たる1968年、総工費5億円かけて着工。70年に完成した。高さ100m。鉄骨造りで、高さ23層の展望台からは石狩平野を一望できた。外壁に使用している鋼材は近年、腐食が進んで剥がれ落ち、専門家から危険性を指摘する声が上がっていた。2014年からは展望台の内部と周辺への立ち入りを禁止し、16年から大学教授や旅行会社社長らによる有識者懇談会で今後のあり方を協議。今年6月から、は庁内組織で存廃を検討してきた。

道が道立野幌森林公園（札幌市厚別区）にある北海道百年記念塔を解体する方針を固めたのは、厳しい道財政の中で多額の維持費を捻出するのは現実的に難しいと判断したからだ。ただ、ランドマークとしての役割を果たしてきた記念塔に対する道民の愛着は深く、跡地に整備するモニュメントのあり方が問われることになる。

「道民の巨大なエネルギーを結集し、天をついて限りなく伸びる発展の勢いをあらわす」記念塔のコンセプトからは、北海道命名100年の節目を迎えた当時、道内が将来への期待に満ちていた様子がうかがえる。道が着工前に行った世論調査でも、道民の7割が建設に賛成。総工費5億円のうち半分が道民や企業からの寄付で賄

4億1千万円。記念塔を継続する場合の今後50年間の費用は、内部への立ち入りを可能にする復元工事と維持費などで28億6千万円、現状維持でも26億5千万円をそれぞれ見込んでいた。塔は「先人への感謝と躍進北海道のシンボル」として建てられ、地域のランドマークとして住民らに親しまれてきた。跡地のモニュメントは「多様性を認め合い、未来志向の北海道を象徴する」とし、維持コストにも配慮する方針。道は公園内の記念塔と北海道博物館、北海道開拓の村の3施設について、今後あり方を示す構想を年内にまとめる。構想素案は近く公表する。

（小林史明）

新モニュメントへ議論

だが外壁の鋼材は雨雪で腐食し、一部が剥落。展望台に入れなくなるなど内部の老朽化も進み、補修費などでこれまでに8億7千万円かかった。このまま維持するならばさらに30億円弱が必要だ。道の百年記念事業では、開拓の歴史資料を展示する北海道開拓記念館（現北海道博物館）が1971年に

完成。明治―昭和初期の道内の建築物52棟を集めた北海道開拓の村も83年に開設した。道はこれら百年記念施設の今後のあり方を探ろうと、2016年から有識者を招いて議論してきた。記念塔については「耐久性が不十分」という危険性の指摘とともに、「人口減少と財政制約で将来世代の負担で維持するのは難しい」との意見を突きつけられた。道民などからの意見聴取でも解体論は多く、開拓の裏側で同化政策を強いられたアイヌ民族への配慮を欠くといった声もあつた。一方で、地域のシンボルや観光客が集まる場として残すべきとの声も根強い。厚別区と江別市の活性化を目指す市民団体「江厚別町」で「副町長」を務める会社社長山崎啓太郎さん（43）江別市は「なじみ深い塔が姿を消すのは悲しい」と残念がる。道は今後、記念塔跡地に設置するモニュメントの内容を巡る議論に入る。北海道命名150年の節目となった今年、道内の歴史や文化を築き上げてきた先人の思いを次世代にどう引き継ぎ、モニュメントにどのような願いを込めるのか。広く道民に開かれた議論が求められる。（小林史明）



年 組 名前

道新でワークシート

【話し合いの一部】

谷	この時間は、記事の中でも取り上げられている「私たちの学級は、新モニュメントにどのような願いを込めるのか」について考えていきます。	
山下	私は、道の考える「多様性を認め合う」ことを願いとしてこめるのがよいと思います。これからの北海道を考えるうえで、重要なことだと思います。	
横井	山下さんに質問です。多様性とは、具体的にどのようなことを考えていますか。	
山下	北海道に移住されてきた海外の方のことを考えています。最近では、海外からの移住者の方が増えているそうです。	
高田	僕は、記事でも触れられていますが、アイヌの人々についても考える必要があると思います。	
木村	私も、高田さんの考えに賛成です。	
谷	話し合いが <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">A</td></tr></table> についての考えを深める方向になってきていますね。	A
A		
	<table border="1" style="width: 100%;"><tr><td style="text-align: center;">B</td></tr></table>	B
B		

①道は百年記念塔の跡地のモニュメントは何を象徴するものとしていますか。記事の中から八字で書き抜きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

②

A

 にあてはまる言葉を三文字で書きなさい。

--	--	--

③

B

 にあてはまる谷さんの言葉として、最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

- ア そもそも、「モニュメントを解体すべきかどうか」についても話してみませんか。
- イ 一度、「新モニュメントにどんなものを作ると良いか」について話題を戻しましょう。
- ウ 一度、「新モニュメントにどのような願いを込めるのか」について話題を戻しましょう。
- エ では、「海外からの移住者の方が住みよい北海道の未来」についても話してみませんか。

④あなたなら「新モニュメントにどのような願い」を込めますか。下の条件に従って書きなさい。

条件1 50字以上、60字以内で書きなさい。

条件2 2文で書きなさい。

										50
										60